

■ 滝沢市地域公共交通網形成計画について【中間報告】

1. 各種調査の概要

〔平成 28 年度滝沢市地域公共交通網形成計画（案）策定業務〕

公共交通における利用実態や市民・学生等の意見・意向を把握するため、市民を対象とした各アンケート調査を実施した。（市民・中学生・睦大学）

また、公共交通利用者の実態及び意見・意向を把握するため、路線バス乗降 OD 調査及び鉄道駅乗り継ぎ実態調査を実施した。

表 1-1 アンケート調査の概要

区分	市民（18 歳以上）	中学生	睦大学
目的	・市民の日常生活における移動実態や公共交通の利用実態、意見・意向等を把握する	・高校への通学や今後の需要及び意見・意向等を把握する	・睦大学への移動実態及び福祉バスの利用実態を把握する
対象	・滝沢市在住の 18 歳以上の市民 ・今後の潜在的な需要が見込まれる、60～84 歳を重点把握層として設定	・市内 6 中学校の中学 3 年生 (滝沢南中、滝沢二中、一本木中、姥屋敷中、柳沢中、滝沢中)	・睦大学における 29 講座の受講者
方法	・郵送配布・郵送回収	・HR 等で配布・回収	・講座で直接配布・直接回収
実施時期	・発送：10 月 20 日（木） ・投函締切り：11 月 7 日（月）	・配布：10 月 21 日（金） ・回収：10 月 31 日（月）	・10 月 21 日（金）～11 月 4 日（金）に実施した講座
回収結果	・回収 991 票(回収率 35.3%)	・回収 472 票	・回収 535 票

表 1-2 実態調査の概要

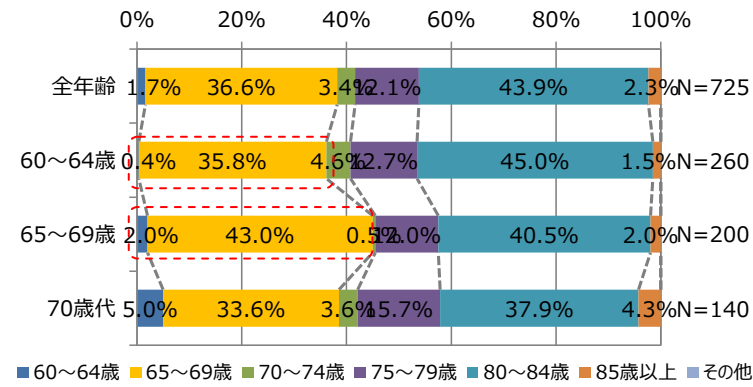
区分	乗降 OD 調査	鉄道駅乗り継ぎ実態調査
目的	・市内を運行する路線バスの利用実態及び路線特性を把握	・鉄道と他の交通サービスの乗り継ぎ実態及び利用者における改善要望・意見・意向の把握
対象	岩手県交通 7 路線、岩手県北バス 5 路線 ※対象路線及び路線選定根拠は別添資料参照	【JR】 大釜駅、小岩井駅 【IGR】 巢子駅、滝沢駅
方法	調査員による調査カードの配布・回収	調査員による聞き取り形式
実施時期	【平日】平成 28 年 11 月 2 日（水） 【休日】平成 28 年 11 月 6 日（日）	【平日】平成 28 年 11 月 2 日（水） 【休日】平成 28 年 11 月 6 日（日）
回収結果	【平日】627 票 【休日】83 票	【平日】110 票 【休日】165 票 ※内訳 大釜駅：平日 15 票、休日 28 票 小岩井駅：平日 22 票、休日 31 票 巢子駅：平日 32 票、休日 36 票 滝沢駅：平日 41 票、休日 70 票

2. 調査結果概要 (アンケート調査)

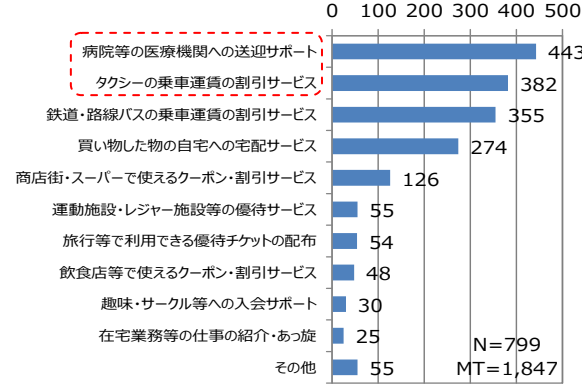
□ 市民アンケート調査

■ 免許返納をしたいと思う時期・免許返納後に必要なサービス

- ・ 60代の次期高齢者層の約3~4割が60代の内に免許を返納したいと考えており、直近10年以内に返納層の増加が想定。
- ・ 返納後には医療機関への送迎サポートやタクシー割引等のサービスが必要と考えており、返納に対する対応の検討が必要。



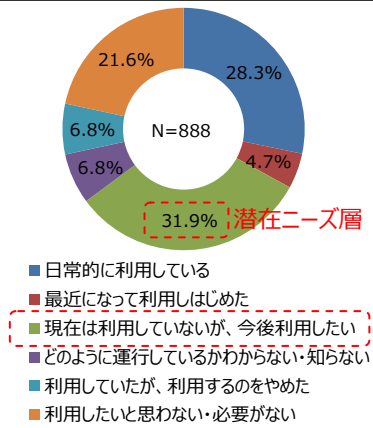
図：免許を返納したいと思う年齢



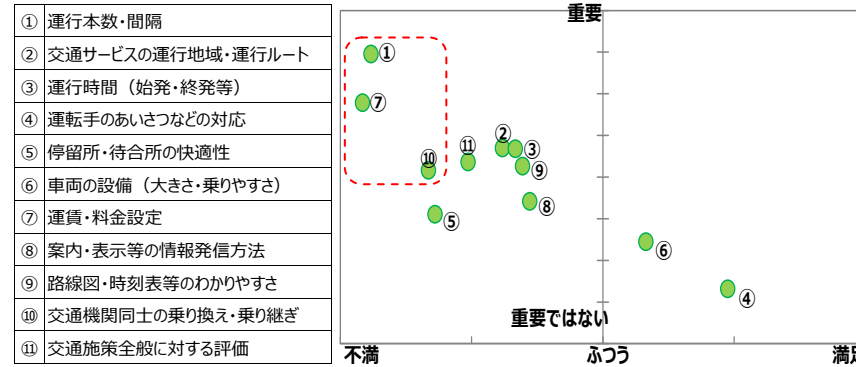
図：免許返納後に必要なサービス

■ 公共交通の利用状況・公共交通に対する評価

- ・ 公共交通を今後利用したいと考える「潜在ニーズ層」は全体で約3割存在し、この層に対する対応・取り込みが重要。
- ・ 運行本数等とならび、「乗り継ぎ」に対する鉄道や路線バス等の多くの交通サービスが運行する本市の特徴といえる。



図：公共交通の利用状況



図：公共交通に対する評価

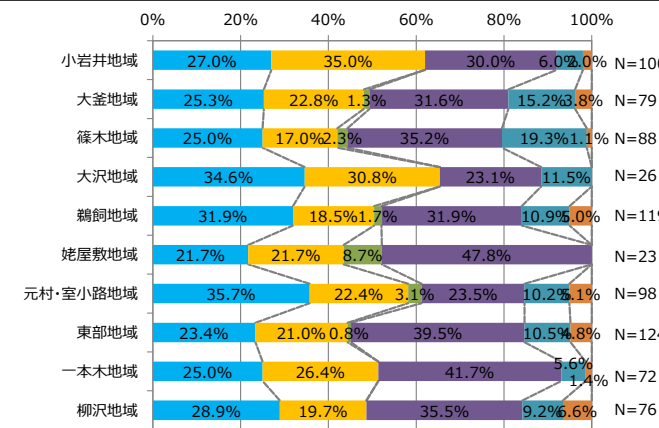
■ 公共交通に必要なサービス・施策

- ・ 鉄道や路線バス等、複数の交通サービスが運行する本市では異なる事業者間で利用できる定期券等の需要が高い。
- ・ 地域が主体となり運行する交通サービスも同様に1位の割合が高く、住民の交通に対する意識醸成の高さがみられる。

市民が必要だと思うサービス (回答者: 770人)	獲得点数			平均点
	1位	2位	3位	
利用したい人がいる時だけ運行する予約型の交通サービス	390	52	33	0.62
地域の住民が主体となり、市の補助を受けつつ行う交通サービス	390	136	30	0.72
鉄道と路線バスをどちらも共通で利用できる「定期券」「乗車券」の導入	396	148	51	0.77
異なる運行会社間でも鉄道や路線バスの乗り継ぎが出来るサービスの導入	201	204	53	0.59
鉄道と路線バスの乗り継ぎがスムーズにできる駅やバスターミナルの拠点を整備	189	156	43	0.50
定額運賃設定など、簡単にわかりやすい運賃の支払い方法の設定	288	262	94	0.84
目的地がどこなのか、わかりやすい路線バス車両の表示	156	172	74	0.52
鉄道・路線バスなどの時刻表・乗り継ぎ案内等、一体的な情報提供を実施する	75	92	58	0.29
停留所のみやすい時刻表・路線図などを設置し、わかりやすい乗り場に改善する	114	124	142	0.49
鉄道駅・バス停にベンチや待合スペースを設置するなど、待合環境を改善する	111	120	123	0.46

■ 今後の公共交通のあり方に対する意向

- ・ 全体的に地域が協働で公共交通を維持するという割合が高くみられ、住民自治の意識が高い本市の特徴といえる。
- ・ 特に小岩井地区・大沢地区では「住民自らが行う交通の運行・運営での維持・確保」が約3割を占める。

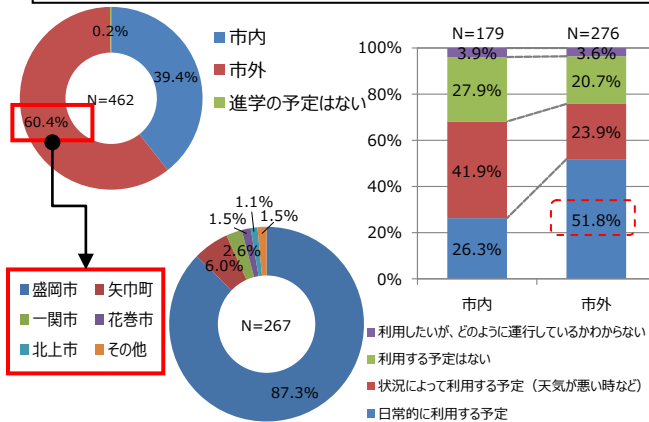


図：公共交通のあり方に対する意向

- 市の負担だけでなく、地域住民や企業等も財政的な支援・負担をし、維持・確保を図る
- 市の負担を基に、地域・自治会が中心となり、住民が自ら考え、運行・運営し、維持・確保を図る
- 市の負担を受けず、地域・自治会のみで、住民が自ら考え、運行・運営し、維持・確保を図る
- 市の負担だけで、できる範囲・必要最低限のサービスにとどめ、維持・確保を図る
- 公共交通の利用実態を踏まえ、縮小や廃止もやむを得ない
- その他

□ 学生アンケート調査

- ・ 市内の中学生の6割が市外への進学を希望しており、内5割が公共交通を利用する予定としている。
- ・ 学生に必要なサービスとして通学時の快速運行や鉄道駅への運行などの交通サービスを求める意見が多くあがっている。



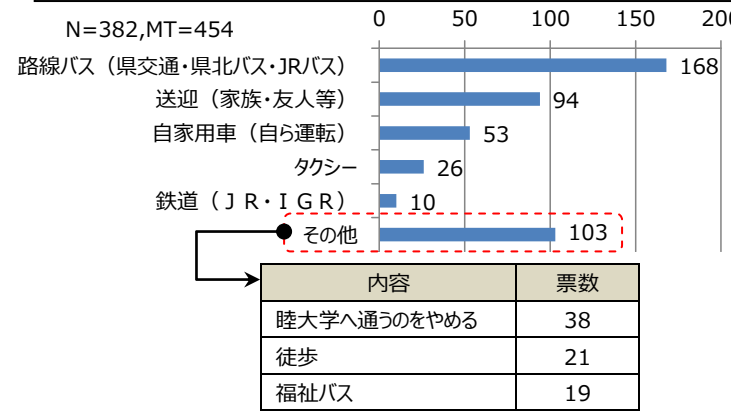
図：高校の進学先 (予定)

次期高校生の保護者が必要だと思うサービス (回答者: 456人)	獲得点数			平均点
	1位	2位	3位	
公共交通の乗り方を知るための教室やお試し試乗会などの開催	57	18	13	0.19
学生が主体となり、交通事業者と利用しやすい公共交通を考える場の提供	51	34	21	0.23
地域内の学生のために住民主体で行う、乗り合い交通の運行サービス	84	50	21	0.34
通学時間帯に自宅付近と最寄りの鉄道駅を運行する交通サービス	297	76	41	0.91
朝夕の時間帯に運行する学生専用で登録制の快速運行サービス	330	140	34	1.11
鉄道と路線バスの両方で利用できる通学定期券の発行	234	192	61	1.07
学生だけが利用できる待合環境の整備	24	56	23	0.23
鉄道と路線バスの乗り継ぎがスムーズにできる運行ダイヤへの改善	150	182	85	0.91
鉄道・路線バスなどの時刻表・乗り継ぎ案内等、一体的な情報提供を実施する	69	80	68	0.48
停留所のみやすい時刻表・路線図など、わかりやすい乗り場に改善する	72	64	66	0.44

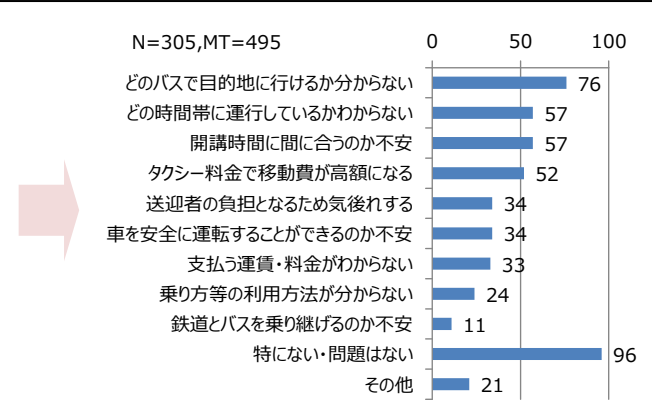
図：学生に必要なサービス (保護者回答)

□ 睦大学アンケート調査

- ・ 現在の通学手段が利用できなくなった場合、睦大学へ通うのをやめる方が1割程度おり、外出機会の創出のため対応が必要。
- ・ 利用する上でバスの運行方向や時間帯に不安を感じており、運行に関する案内・情報提供が必要。



図：現在の移動手段が出来なくなった場合の通学手段



図：選択した移動手段を利用する上で不安なこと

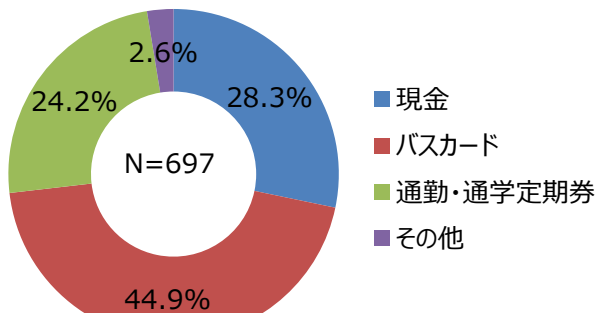
3. 調査結果概要 (乗降 OD 調査)

主体	路線名	平休	便数			乗車人数	利用目的				年齢								他の交通へ乗り継ぎ				概要		
			往路	復路	合計		通勤・通学	通院・通所	買物・私用	業務	～14歳	15～18歳	19～29歳	30～49歳	50～64歳	65～74歳	75～84歳	85歳以上	鉄道 (JR)	路線バス	鉄道 (IGR)	福祉バス			
岩手県交通	滝沢小岩井線	平日	1	1	2	0																			※調査日における乗車無し
		休日																							
	松園北高線	平日	1	2	3	35	85.7%	5.7%	8.6%	0.0%	0.0%	47.1%	2.9%	26.5%	11.8%	11.8%	0.0%	0.0%	7.7%	76.9%	15.4%	0.0%			通勤・通学による利用が約9割を占め、発着点は「盛岡北高前」「厨川中学校前」が多くなっていることから、盛岡北高の生徒の利用や青山駅付近の企業の従業員が利用しているとみられる。
		休日																							
	滝沢県立病院線	平日	3	3	6	45	16.3%	32.6%	37.2%	14.0%	0.0%	0.0%	2.3%	20.5%	29.5%	25.0%	22.7%	0.0%	7.1%	57.1%	35.7%	0.0%			滝沢市内から発着した利用者は全体の約2割程度であり、滝沢ニュータウン付近から青山地区付近への移動が多い。通院、買物の利用目的で利用されている傾向にある。
		休日																							
	みたけ箱清水線	平日	1	0	1	9	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	22.2%	11.1%	33.3%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%			滝沢市内から発着した利用者はいなかった。通勤・通学目的で利用されているおり、厨川駅や県立中央病院での発着が多く、他の路線との乗り継ぎがされている。
		休日																							
	滝沢駅・盛岡大学線	平日	16	18	34	229	95.9%	0.9%	3.2%	0.0%	0.0%	17.2%	69.6%	6.6%	5.7%	0.9%	0.0%	0.0%	12.5%	8.2%	78.8%	0.5%			利用者の約7割が大学生であると見られ、滝沢駅から盛岡大学・県立大学の発着が多くみられる。
		休日	11	9	20	11	81.8%	0.0%	18.2%	0.0%	0.0%	9.1%	81.8%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	90.0%	0.0%			鉄道 (IGR) を利用し通学する学生に主に利用される路線となっている。
	巣子盛岡大学線	平日	1	2	3	17	94.1%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	17.6%	64.7%	11.8%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	28.6%	42.9%	0.0%			利用者の約7割が大学生であると見られ、盛岡大学・県立大学の発着が多く、富士見団地付近での乗降が多くみられる。
		休日																							
巣子箱清水線	平日	11	11	22	176	71.7%	11.6%	16.8%	0.0%	0.0%	11.5%	37.9%	18.4%	14.4%	6.9%	9.2%	1.7%	14.5%	60.2%	22.9%	2.4%			大学生の利用が多くみられる中で、30～50代の利用者が約3割程度あり、滝沢市内では富士見団地付近から盛岡市街地への移動がみられる。	
	休日	3	3	6	25	56.0%	8.0%	36.0%	0.0%	4.0%	4.0%	40.0%	20.0%	16.0%	16.0%	0.0%	0.0%	0.0%	54.5%	45.5%	0.0%				
岩手県北バス	はんのき県立大学線	平日	2	0	2	7	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%			県立大学の大学生の利用が3割程度みられる。約5割が通院目的の利用となっているが、盛岡市内での移動手段として利用されている。
		休日																							
	巣子県立大学線	平日	6	4	10	44	38.6%	9.1%	50.0%	2.3%	0.0%	0.0%	46.5%	14.0%	11.6%	9.3%	14.0%	4.7%	19.0%	47.6%	33.3%	0.0%			大学生の利用が約半数程度みられる中で、買物・私用による利用割合が5割となっており、一般利用者が富士見団地付近から盛岡市内に移動する際に利用されているとみられる。
		休日	2	4	6	33	42.4%	12.1%	45.5%	0.0%	0.0%	9.4%	31.3%	25.0%	12.5%	12.5%	9.4%	0.0%	44.4%	44.4%	11.1%	0.0%			
	滝沢駅線	平日	7	6	13	63	50.0%	12.9%	35.5%	1.6%	0.0%	6.3%	9.5%	31.7%	20.6%	17.5%	12.7%	1.6%	21.2%	54.5%	21.2%	3.0%			滝沢市内から発着した利用者は全体の約2割程度であり、滝沢駅付近から青山付近への通院手段として利用されている割合が多くなっている。
		休日	1	1	2	14	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	21.4%	21.4%	21.4%	21.4%	0.0%	33.3%	55.6%	11.1%	0.0%			
	盛岡大学線	平日	1	0	1	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%			※利用者数が少ないため利用実態は参考数値
		休日																							
	滝沢駅盛岡農高線	平日	0	2	2	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			※利用者数が少ないため利用実態は参考数値
		休日																							

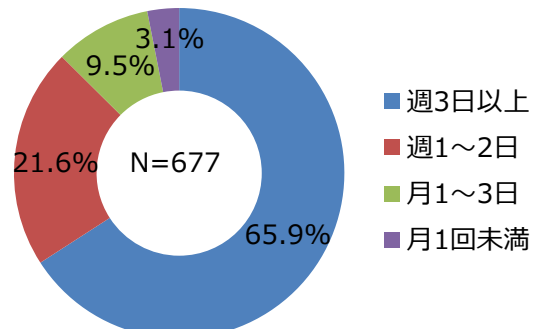
アンケート結果

- ・「運賃の支払い方法」は「バスカード」が44.9%(313人)で最も多い。
- ・「最近のバス利用回数」は「週3日以上」が65.9%(446人)で最も多い。
- ・「バスの利用目的」は「通勤・通学」が70.2%(487人)で最も多い。
- ・「他の交通へ乗り継ぎ」は「いわて銀河鉄道」が50.0%(206人)が多い。
- ・「本市に必要なサービス」は「待合い環境の整備・充実」が25.5%(212人)で最も多い。
- ・「年齢」は「19～29歳」が42.5%(298人)を占めた。
- ・「性別」は「男性」が32.0%(222人)、「女性」が68.0%(471人)。

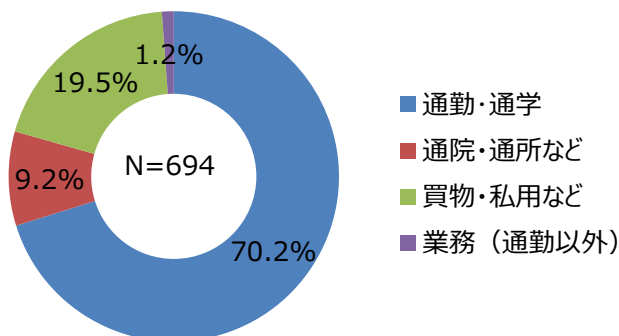
【運賃の支払い方法】



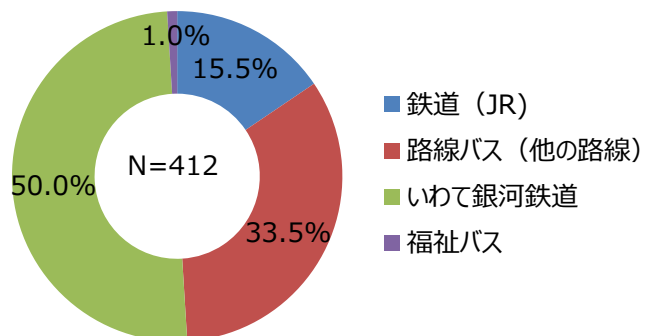
【最近のバス利用回数】



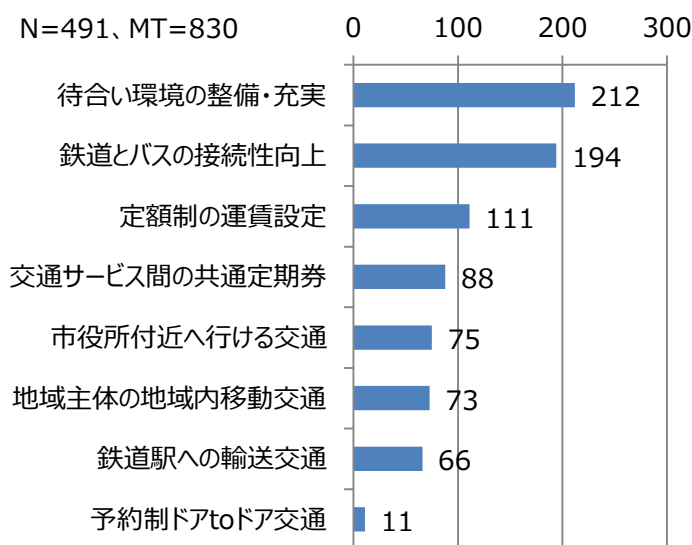
【バスの利用目的】



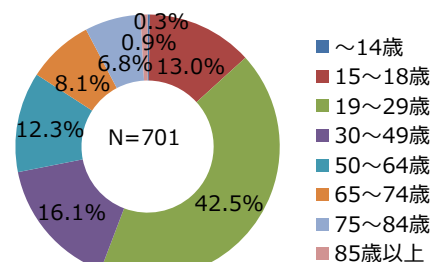
【他の交通へ乗り継ぎ】



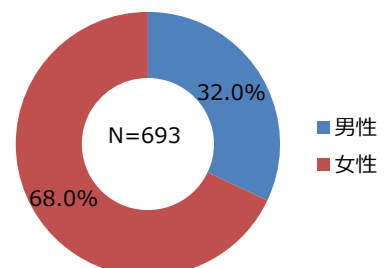
【本市に必要なサービス】



【年齢】



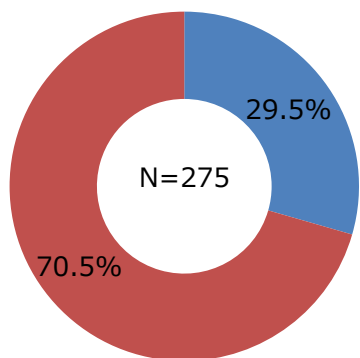
【性別】



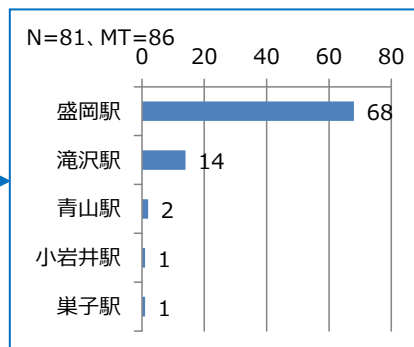
4. 調査結果概要（乗り継ぎ実態調査）

■ 公共交通の乗り継ぎ実態

- 公共交通を乗り継いだ方は全体の約 3 割おり、鉄道や路線バスが複数運行しているため、比較的多くの方が公共交通を乗り継いでいる実態であった。多くの方は盛岡駅で乗り継ぎをしている。



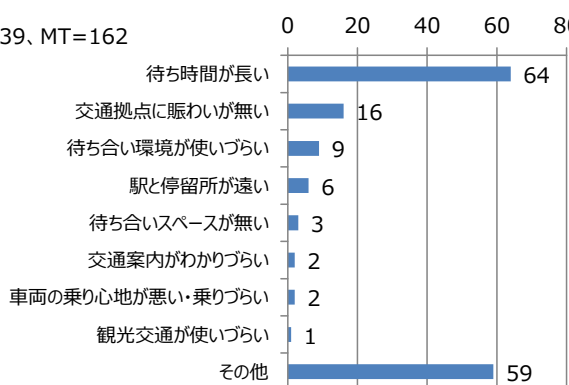
■ 乗り継ぎをした
■ 乗り継ぎをしていない



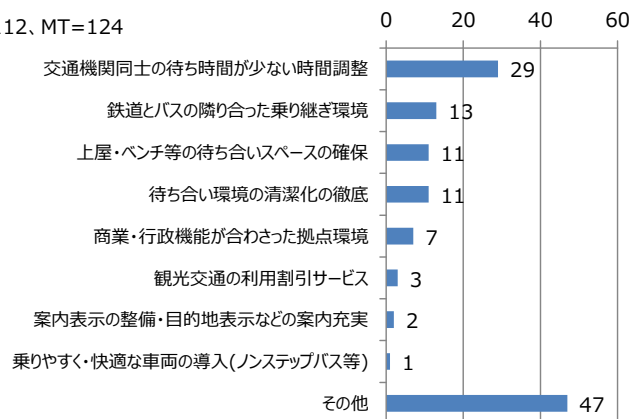
■ 公共交通の問題点・欲しい機能・サービス

- 公共交通の問題点として、「鉄道やバスの待ち時間が長い」が最も多く、欲しい機能・サービスとしても交通機関同士の待ち時間や乗り継ぎ環境等があり、接続性の改善や待ち合い環境の改善が求められている。
- 自由回答では、全体的に鉄道やバスの運行本数に関する要望がみられた他、市役所や盛岡駅、イオンの主要拠点へ直接行くことが出来る交通サービスを求める声が多くあげられた。

N=139, MT=162



N=112, MT=124



【自由回答】

【大釜駅】

- 大釜駅から市役所へのシャトルバスを運行して欲しい。(計 2 件)

【小岩井駅】

- 小岩井駅周辺の駅舎が古いので、待ち合い環境を改善して欲しい(計 6 件)
- 駅周辺に商業施設などが無いので、そうした機能があるといい(計 3 件)
- イオンに買物する機会が多いので、イオンモールへ直通する路線バスがあれば便利。(計 2 件)

【巢子駅】

- バス停にベンチや屋根の設置など、環境を改善して欲しい(計 4 件)

【滝沢駅】

- 滝沢駅の待ち合い環境が狭いので改善して欲しい。(計 6 件)
- 市役所へ直接行くことが出来る便があるといい。(計 3 件)